

2008年…町屋地域について考えてみませんか

コミュニティの活性化、くらしの安心確保へ 子どもから高齢者まで人に優しいまちづくりを



町屋ひろば館（左）と今後が注目される町屋二丁目ひろば館

町屋ひろば館を「ふれあい館」にする計画だが
工事手法や既存館のあり方の再検討が必要

昨年何度か町屋地域の
コミュニティ施設のあり方
を取り上げました。
議会での質問を通じて
大規模改修でよいのか（建
替の必要性） ふれあい

館建設で直ちに隣接ひろば
館を廃止してよいのか 町
屋一、三、四丁目のように
事実上の空白をどうするか
など区として計画の再検討
を年度内に行うことにして
います。町屋地域では、ぜ
ひ二、三、四丁目地域にふ
れあい館を建設すべきです。

町屋地域は公園面積が区内最低 防災面からも「公園」などの確保は緊急

町屋地域は、公園面積が
各町の中でいちばん少ない
ようです（「尾久の原公園」
は、尾久地域）。密集市街
地を多く抱えているだけに
公園の確保は、

あるくらしをする上で無く
てはならないものです。区
も町屋地域の公園確保を重
視しているようです。積極
的な対応が望まれます。

非常に大事で
す。また、都
市における公
園は、全ての
人に平等に開
放された空間
で、人々が温
もりとゆとり



改修予定の尾竹橋公園



町屋4丁目児童遊園予定地



旧町屋三丁目ひろば館はどうなる？

横山幸次

日本共産党荒川区議会議員団

区政報告
ニュース

289

2008年1月13日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax3806-9246
E-mail: arajcp@tcn-
catv.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504

日本共産党区議団
ホームページアドレス
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpara/>

裏面に続きます。ぜひご覧下さい

定例法律相談

2月4日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

【定例生活相談会】
毎週水曜日 午後2時から5時
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。
秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住
法律事務所の相談日などご紹介しますので、
お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

一月四日、区のシンボルマークがお披露目 みなさんのご感想はいかがですか

まちの話 あれこれ

「区制七十五周年記念事業」の一環として、昨年荒川区のシンボルマーク制定作業が進められてきました。七十五周年事業の是非は別にして、区民が親しめるシンボルマークはあってよいと思います。東京芸術大学のみなさんが作成した六つの候補作から区民アンケートで最高点を取ったものが選ばれました(下写真)。

横山幸次

すでに町会の掲示板の区ポスターや区役所一階でご覧になった方も多いいと思います。意味は荒川の頭文字「A」と「人の力」や「元気」を図案化、組み合わせ、「人の和(WA)」という意味も表すとしています。の部分には朱



掲示板に貼られた区ポスター

この一年、みなさんと一緒に くらし、地域のことを考え行動します

今回の特集は、主にまちづくり、施設関係を町屋地域中心に書いてみました。他に、介護、医療、保育、教育内容など多くの課題があります。この一年、みなさんと一緒に考え行動していきます。

町屋駅前、生活道路のバリアフリーを 放置自転車では地上駐輪場確保を急げ

バリアフリーについては、尾竹橋通りの一部を改善させましたが、全体はこれからです。特に目立つのが、生活道路である区道です。電柱は、歩道帯にはみ出し、高い段差、凸凹状態が多く見られます。また町屋駅前も急な段差と放置自転車という障害物だらけです。駅前開発も良いのです。



歩道面に貼りだした電柱、段差だらけの駅前



が、まずは人間を大事したまちづくりが今年の大きなテーマのような気がします。みなさんはどうお考えでしょうか。

まだまだあります…こんな問題



京成ガード下に広がる空間は、今度どうなるの？



建替えが予定される町屋
8丁目都営住宅。住民は、
6丁目都営住宅に移転予定



建設中の上智保育園分室ゼ
ロオ、一才が入ります
安心して働ける保育環境を

耐震補強助成の抜本的拡充など 本気の「震災対策」が必要です

町屋地域は、東京都の調査でも震災時の危険度が極めて高い地域とされています。古い木造住宅が細い路地をはさんで密集しているのですから当然です。震災対策の基本は、最初の「一撃」から人命が助かることではないでしょうか。道路の拡幅、公園確保、燃えないまちづくりは、当然必要です。しかし、いま起こるかもしれない地震に対して、まず圧死や焼死を防ぐための耐震補強は緊急課題です。そのために補助制度の充実、高齢者や障害者世帯への無料

実施など検討
すべきではな
いでしょうか。



細い路地が入り組む町屋

子育て環境充実と教育環境整備が急がれます まず低学年の少人数学級と学童クラブ改善を

教育や子育ての環境をよ
り良いものにするには、
政治の責任です。学校選択
制によって一クラスの人数
が四十名の定員いっぱい
なるケースもあります。ま
ず低学年から三十人学級を
視野に入れた対策が必要で
すし、学校選択制や学区
のあり方も検討すべき時
ではないでしょうか。また
学童クラブの申込は増え続
けていますが、施設が追いつ
きません。八十人、百人
というマンモス学童クラブ
解消に着手すべきです。



四峡小を望む(上)
四峡小体育館そばに建設
中の「学童クラブ」(下)



少なくなった「銭湯」、高齢者のくらし応援に 今年こそ「高齢者半額入浴制度」実現を

町屋から銭湯が一つ、ま
た一つと消えてきました。
石油高騰など経営もたいへ
んです。また高齢者も一回
四百三十円の風呂代の負担
はたいへんです。家にお風
呂があっても銭湯でお友達
と交流することも楽しみの
一つです。これ以上銭湯を
なくさないために高齢者の

くらし応援のために「高
齢者半額入浴制度」は何と
しても実現したいものです。

